

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	利用者の重度化に伴い、食事形態も普通食では困難な方もおり、個々に対応した食事の提供が必要になってきている。	個々の食事形態を考慮し、栄養バランスの摂れた安全で、楽しい食事環境を整える。	日々の摂取状況を観察しながら、ユニット毎の引継ぎ等で現状に合わせた最善の方法を検討する。月1回の調理会議で、様々な形態に対応できる食材を含めた献立の検討、個々の利用者の摂取状況、食事形態の確保。	6ヶ月
2	45	身体機能の低下により、家庭用浴槽と浴室用椅子を使用したの入浴は困難な方が数名おられる。	それぞれの方法で、入浴効果を高め、清潔保持に努める。	ADLや状況に応じて入浴方法を検討し、介護チェア等介護用品を活用する。浴室内、脱衣所の安全な環境作りとして、浴槽からの立ち上がりを容易にする工夫や、入浴が楽しみとなるよう入浴剤(ゆず湯・菖蒲湯等)を使用する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。